

[採血](#) | [尿検査 随時尿検査](#) | [尿検査 蓄尿検査](#) | [糞便検査 便潜血免疫法](#)  
[糞便検査 便培養](#) | [喀痰検査](#) | [尿素呼気試験](#)

### 採血

- 採血は、原則的に空腹状態で行います。
- ただし、食事の影響をうける検査項目が含まれていない場合や、病状によっては食事をとらなければならないこともあります。食事をどうすればよいかについては、主治医からお聞きください。

#### ◆食事をとらない場合には・・・

- 採血前日の午後 10 時以降は、食物を摂らないでください。
- 水（水道水、白湯、ミネラルウォーター）は飲んでもかまいません。
- ただし、以下のものは水とはみなしません。
  - × 緑茶・紅茶などのお茶類、コーヒー
  - × ジュース、コーラ、牛乳、スポーツ飲料
  - × アルコール（アルコールに強い・弱いに関係なく、血中の中性脂肪を上昇させます）
- 発熱し、大量の発汗がある場合は、水道水やミネラルウォーターで積極的に水分を摂取し、十分な尿が出るようにしてください。
- ご年配の患者さんは、朝食を摂らない分、水分摂取（水道水、ミネラルウォーター）を行ってください。  
※糖尿病の患者さんは、病気の進行度や治療方法によっては、食事をとらなければならないこともありますので、主治医の指示を受けてください。

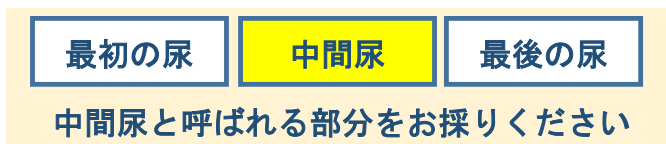
#### ◆そのほか

- 採血後は、5分ほど採血部位を圧迫してください。（揉むと内出血してしまいます）
- 朝食の「食後」に服用するお薬については、主治医の指示を受けてください。「食前」と指示されているお薬は、服用してください。
- 採血当日に入浴してもかまいませんが、採血部位を強く洗わないでください。

## 尿検査 随時尿検査

---

- 最初の尿は、尿カップに入れずに、途中から尿カップに入れてください。(最初の尿で尿道の細菌を洗い流します)



- 尿量は、カップの 50 の目盛りくらいまで入れてください。
- 尿量が少ない場合でも、尿は捨てずに受付にお申し出ください。
- 生理中の場合は、その旨を主治医に申し出てください。
- 尿が採取できない場合は、事前に各科のの受付にお申し出ください。

[↑トップへ](#)

## 尿検査 蓄尿検査(24時間蓄尿)

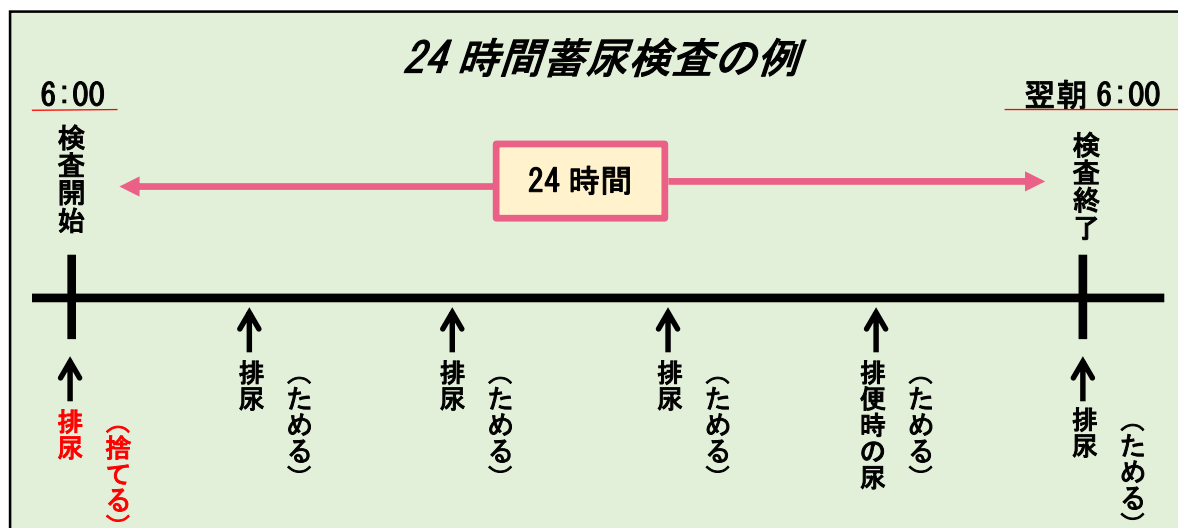
この検査は、24時間の尿量と尿中物質の濃度を測定し、目的とする尿中物質の一日排泄量を調べます。

### ◆検査方法

- 患者さんのご都合に合わせて実施日を決めます。(もしくは主治医に従ってください)
- 開始時刻は、ご自身の都合に合わせて設定していただいて構いませんが、尿をため始めてから終了までの時間が必ず24時間になるようにしてください。

例:朝6時に検査を開始し、翌朝6時に検査を終了する場合

- ① 検査開始の朝6時に排尿します(この尿は捨ててください)
  - ② 次回以降の尿をすべて蓄尿容器にためていきます。
  - ③ 翌朝6時の検査終了時には、尿意がなくとも排尿し、蓄尿容器にためます。
- 蓄尿容器は、中央処置室受付に提出してください。



蓄尿容器(ユリンメート)

### ◆ご注意点

- 排便時の尿も流さずにためてください。
- 容器に尿を入れる前に、コックの位置(横)を確認してください。
- 排尿1回につき、コックの操作は1回です。
- 蓄尿容器のビニールテープは、はがさないでください。

## 糞便検査 便潜血免疫法

胃、十二指腸、大腸から出血しているかどうかを調べる検査です。肉眼では分からないような便中の血液を検出することが可能です。

### ◆ご注意点

- 採取量にご注意ください。
- 生理日の採便は避けてください。
- 痔疾のある患者さんは、主治医にその旨をお伝えください。
- 採取後は、中央処置室受付に提出してください。(人間ドック受診の方は、健診センターにて提出)
- 採取日から提出日までの期間が長くなると、検査ができないことがありますのでご注意ください。

**便潜血 免疫法の採便方法**

トレルペーパーを水洗用便器内に敷いて排便して下さい  
採便後はそのまま流すことが出来ます

洋式                      和式



**1** ラベルに氏名等を記入  
※必ず、採便した日・時を記入して下さい



① キャップを回して、  
② 引きぬく



**2** 便をとりすぎると、正しい検査ができません



表面をまんべんなくこすり取る

とる量



先端のみぞに埋まるくらい

**3** さし込んで、キャップを強く押す  
パチンと音がするまで  
※1回さし込んだら、ぬかないこと



**1日目** 青字ラベル



**2日目** 赤字ラベル



提出用袋に2本入れ  
すぐに提出

採便後は冷暗所で保存

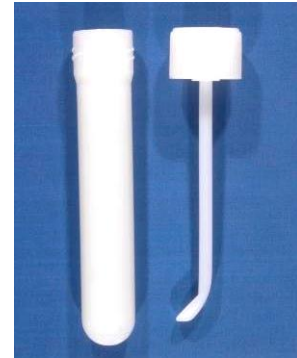
## 糞便検査 便培養

---

- 糞便中の病原微生物を検出し、培養して種の同定を行い、効力のある薬が何であるかを調べる検査です。
- 採便容器には採便管があります。

### ◆採便管について

- キャップ内側のさじで、弁を親指の頭ほど採取します。
- 便を容器に入れ、キャップを閉めます。
- ただちに中央処置室受付に提出してください。



[↑トップへ](#)

## 喀痰検査（細菌検査・細胞診）

---

- 喀痰を喀出する前に、うがいをおこない口腔内の常在細菌を洗い流してください。（うがい薬は使わないでください）
- 咳払いを行い喀痰を喀出しますが、黄色や緑色の粘りけのある固まりが喀痰です。さらさらとした無色や白色の液体は唾液です。唾液は検査材料とはなりません。 **※注**）
- 喀痰は、採痰容器に直接出してください。（唾がなるべく入らないようにしてください）

**※注**）喀痰検査は痰の質が大切です。

左：唾液成分しか採取されていませんので、検査には不適切です。

右：膿性成分（黄色っぽい）が採取されています。検査に適切な痰と考えます。



- 起床後日常生活を開始したときに喀痰は多く出ます。これは、寝ている間に気道にたまった喀痰が排出されるためです。喀痰があまり出ない場合には、起床直後に採痰するようにしてください。
- すぐに提出できない場合、喀痰は採痰容器にいれ冷蔵庫（4℃）で保存してください。
- 冷蔵庫で保存しても 1 日が限度です。喀痰喀出後 24 時間以内に中央処置室受付に提出してください。

[↑トップへ](#)

## 尿素呼気試験（ヘリコバクター・ピロリの検査）

---

胃の中にピロリ菌がいるかどうかを、専用の袋に呼気（吐いた息）をためて調べます。検査薬を服用して行うため、検査終了までに30分程度かかります。



### ◆ご注意点

- ベッドへの移動が自力でできない方は、お申し出ください。
- 主治医から処方された以外のお薬を飲まれている場合は、持参いただきますようお願いいたします。  
(検査に影響があるか確認します)

[↑トップへ](#)